

平成30年度 基本事業評価シート（平成29年度実績評価）

政策 04 快適に暮らせるまち
施策 03 道路網・公共交通体系の整備
基本事業 04 公共交通網の充実
主管課： 都市計画課
関係課： 都市計画課

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民	バス、鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

1日当たりバス利用者数（人）					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
3,575.00	3,541.00	4,046.00	4,612.00	4,612.00	3,900.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成28年度と比較して、505人増加しています。 （原因）路線バス、モコバスとも利用者数が増加しています。これは、ICカードの導入による利便性の向上が図られたことによるものと思われます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題とする				

1日当たり鉄道利用者数（人）都市計画課					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
37,497.00	37,676.00	43,970.00	51,005.00	59,165.00	40,000.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成28年度と比較して、6,294人増加しています。 （原因）人口増加とともにつくばエクスプレス・関東鉄道常総線の利用者数も増えていきます。松並青葉地区への入居者が増加傾向であることから、さらに利用者数の増加が見込まれます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

公共交通に対する市民の満足度（バス）（％）					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
23.30	23.50	25.50	28.00	0.00	30.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成28年度と比較して、2ポイント向上しています。 （原因）市民が思う不便さを解消し、市民ニーズを満たせるような公共交通網の再編やサービスの向上を図っていく必要があります。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

公共交通に対する市民の満足度（鉄道）（％）都市計画課					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
74.00	69.40	73.00	74.00	75.00	76.00
向上指針	上がると良い	（状況）平成28年度と比較して、3.6ポイントと大きく向上しています。 （原因）市民の鉄道に対する満足度自体は基準値近くまで向上していますが、さらに利便性への期待度が高いことが伺えます。引き続き、市民が思う不便さを解消できるような取組を鉄道会社と調整していく必要があります。			
対前年度	向上				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	92,575	92,038	94,660	93,111	93,111
人件費	0	1,460	12,284	0	0
トータルコスト	92,575	93,498	106,944	93,111	93,111

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

公共交通網形成計画（案）策定のため、守谷市地域交通活性化協議会を開催し、市内公共交通について検討をし、公共交通網形成計画を策定させた。さらに、平成31年度に新たな公共交通の運行を実施し、検証・改善等を行いながら、利便性向上を常に模索して必要がある。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	削減

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]